



昭和56年10月10日創刊
 令和8年1月1日発行
 二松學舎松苓会
 神奈川県支部
 振替 00280-3-2646
 支部長 平野 光治
 題字 下河部元支部長書
 印刷 (株)アドタック

令和7年度

神奈川県支部

第46回定期総会報告

事務局長 網野 将美

令和7年7月26日(土)14時40分より、地球市民かながわプラザ(あーすプラザ)にて、第46回二松學舎松苓会神奈川県支部定期総会が開催されました。

会は伊藤文雄様の司会により進行され、支部長挨拶の後、来賓の本部副会長 大山由美子様、東京支部長 矢澤喜成様、千葉県支部長 河野千津子様よりご挨拶をいただきました。

議事については支部長自ら議長として進行され、「令和6年度事業報告」「令和6年度決算」「令和7年度予算案」についてはすべて承認、また「令和7年度事

業計画案」については、文学歴史探訪の開催日について再度検討することをもって承認されました。

その他の議案について、役員会において検討された講演会の講師に対する謝礼金の増額について、出席者の賛同、承認をいただき、今年度より適用されることとなりました。

議事終了後、本学 原由来恵教授をお招きいたしまして、「紫式部と清少納言」の演題でご講演いただきました。

本年度は出席者も増加し、皆様のおかげをもちまして、つづがなく総会を開催することができました。皆様に感謝申し上げます。

出席者名

●来賓

本部副会長

大山 由美子様(47)

東京支部長

矢澤 喜成様(50)

東京支部幹事長

片山 聖英様(47)

千葉県支部長

河野 千津子様(49)

●神奈川県支部会員

網野 将美(64)

生垣 しげ子(38)

伊藤 文雄(45)

小林 孝彰(38)

今野 哲(25博)

鈴木 久子

原田 佐知子

平野 光治(40)

廣田 克己(38)

吹原 礼憲(63)

(五十音順)



原 由来恵教授と参加者の皆さん

講演を聞きながら

支部長 平野 光治

演題の「紫式部と清少納言」は講師からすれば逆にすべきであるとのこと。なぜなら清少納言が年上であること、先に内裏に仕えていること。更には、個人的には専門が枕草子でどちらかと言えば清少納言派であるからとの導入があつて講演が始まった。

NHK大河ドラマ「光る君へ」からの発想であつたが、私の史実認識の甘さが露呈された。更に、「紫式部日記では行く末、生い先は悪いなどと清少納言の悪口を言っている。それはなぜか。」との疑問が投げかけられた。あてられたらどうしようかと緊張。清少納言と紫式部はドラマのように対面して話すことはなかった。内裏でもそれはなかった。

なぜなら、清少納言が内裏を退出してからおよそ4〜5年後、紫式部が内裏に入ったからである。疑問が深まった。中宮定子に仕えた清少納言。中宮彰子に仕えた紫式部。藤原道隆、藤原道長が絡み複雑さが増して行く。一条天皇の思いは…。

后、中宮が誰になるかで権力が左右され、後見者が権力を握る。「清少納言と紫式部にドラマがあつたかわからないが、仕えた女あるじへの愛情をもって盛

り立てていこう」として作品が生まれたのではないか。」との言葉で講演は結ばれた。

権力を握るために画策した背景に翻弄された人々がいたことを思うと虚しくなる。根拠を持たった力強い講演に深く感謝いたします。

令和7年度

神奈川県支部

賀詞交歓会報告

支部長 平野 光治

令和7年1月18日(土)12時30分から梅の花横浜スカイビル店にて、二松學舎松苓会神奈川県支部賀詞交歓会が開催されました。コロナの影響から長きにわたり支部事業が停滞の状況でした。特に「賀詞交歓会」はその影響を大きく受けておりました。本年の開催により、本来の全ての支部事業が開催されたこととなりました。

東京支部支部長 矢澤喜成様をお迎えし、支部会員8名を含め、9名の参加となりました。



賀詞交歓会



支部長挨拶後、来賓として矢澤喜成様より、ご挨拶をいただきました。

本部顧問・支部顧問の廣田克己様による乾杯後、ご参加いただいた皆様からご挨拶並びに近況報告をいただきました。会員が集い、料理に舌鼓を打ち、動き始めた日常を謳歌する時間となりました。

先ずは憂いなく新年のスタートを切ることが出来ました。ご来賓並びにご参加いただきました皆様に深く感謝申し上げます。

出席者名

●来賓

東京都支部長

矢澤喜成様(50)

●神奈川県支部会員

網野 将美(64)

小林 孝彰(38)

鈴木 久子

中川 順子

原田 佐知子

平野 光治(40)

廣田 克己(38)

福島 猛(44)

(五十音順)

令和6年度 決算

令和6年7月1日～令和7年6月30日 単位：円

収入金額	支出金額	差引残高
1,446,227 円	326,270 円	1,119,957 円

[収入の部]

科目	予算	決算	増減	摘要
繰越金	1,107,353	1,107,353	0	現金 ¥200,242 振替 ¥907,111
会費	100,000	28,000	△72,000	¥20,000×1名、¥4,000×2名
助成金	150,000	63,474	△86,526	本部より助成費(支部運営¥63,474)
祝い金		30,000	30,000	支部総会・賀詞交歓会開催祝い金(本部・東京支部より)
懇親会費・雑収入		217,400	217,400	懇親会・賀詞交歓会会費、文学歴史探訪参加費(9名)、鈴木久子様より寄付金100,000円
計	1,357,353	1,446,227	88,874	

[支出の部]

科目	予算	決算	増減	摘要
会議費	100,000	28,054	△71,946	役員会等の諸費用及び会場施設使用料
交通費	50,000	13,860	△36,140	役員会、小役員会等の交通費
印刷費	80,000	67,650	△12,350	支部報印刷代
通信費	120,000	46,936	△73,064	郵便料金、レターパック、切手葉書
慶弔費	30,000	0	△30,000	
支部交流費	50,000	20,000	△30,000	支部総会開催祝い金(東京支部・千葉支部)
支部助成費	100,000	137,080	37,080	懇親会・賀詞交歓会・文学歴史探訪費用
事務費	30,000	12,140	△17,860	プリンターインク代
雑費	10,000	550	△9,450	振込手数料(横浜銀行)
予備費	787,353			
計	1,357,353	326,270	△1,031,083	

令和7年度 予算

令和7年7月1日～令和8年6月30日 単位：円

[収入の部]

科目	予算	摘要
繰越金	1,119,957	現金 ¥349,372 振替 ¥770,585
会費	40,000	¥2,000×20口
助成金	150,000	本部よりの助成費(総会開催、支部報印刷、支部運営費等に運用)
祝い金	50,000	お祝い金他(本部、東京支部、千葉支部他)
懇親会費・雑収入		総会懇親会費、賀詞交歓会費等
計	1,359,957	

[支出の部]

科目	予算	摘要
会議費	100,000	総会、賀詞交歓会、役員会等の諸費用及び会場施設使用料他
交通費	50,000	役員会、支部交流、小役員会等の交通費
印刷費	80,000	支部報印刷代
通信費	120,000	郵便料金、ゆうパック、宅急便、切手葉書等
慶弔費	30,000	会員の慶弔
支部交流費	50,000	他支部総会時の祝い金(東京支部、千葉支部他)
支部助成費	120,000	総会、賀詞交歓会、文学歴史探訪等への助成
事務費	30,000	支部封筒印刷代、事務用消耗品等の購入
雑費	10,000	振込手数料他
予備費	769,957	
計	1,359,957	

令和6年度 事業報告

(令和6年7月1日～令和7年6月30日)

1. 6年 7月 6日(土) 役員会
(令和6年度の事業について、総会実施についてなど)
2. " 7月 6日(土) 「令和5年度会計監査」(かながわ県民センター)
3. " 8月 10日(土) 「第45回 定期総会」(かながわ県民センター)
4. " 10月 12日(土) 「文学歴史探訪」(大磯 鳴立庵・旧吉田邸など)
5. 7年 1月 18日(土) 「令和6年度 賀詞交歓会」(横浜・梅の花、出席者9名)
6. " 2月 16日(日) 小役員会(令和6年度会計について)
7. " 2月 19日(水) 本部へ「助成費」申請
8. " 6月 23日(月) 「神奈川県支部報 第44号」発送(300部印刷)

令和7年度 事業計画

(令和7年7月1日～令和8年6月30日)

1. 7年 7月 5日(土) 役員会(かながわ県民センター)
2. " 7月 5日(土) 「令和6年度会計監査」(かながわ県民センター)
3. " 7月 26日(土) 「第46回 定期総会」(地球市民かながわプラザ)
4. " 10～11月 「神奈川県支部報 第45号」発送予定(300部印刷)
5. " 11月 8日(土) 「文学歴史探訪」開催予定
6. 8年 1月 17日(土) 「令和8年度 賀詞交歓会」開催予定
7. " 2月初旬 本部へ「支部助成費」申請予定
8. " 6月下旬 「令和7年度 会計監査」予定

※小役員会は、必要の都度開催

監査報告書

監査報告書

松苓会神奈川県支部 規約 第14条に基づき
「令和6年度会計の執行状況」について監査した結果
適正であることを認めます。

令和7年 7月 5日

監 査 伊藤 文雄
小林 孝彰

松苓会神奈川県支部役員

(令和4年7月1日～令和7年6月30日)

県西	県西	県央	三浦	横浜	横浜	県央	川崎	県央	県西	県央	川崎	地区
地区委員	地区長	地区長	地区長	地区長	監査・支部報	事務局長	副支部長・監査	支部長・支部報	"	"	顧問	役職
53	53	53	48 修15	44	45	64	38	40	38	38 修5	27	卒回
大島 雅文	岩本 明子	山口 正樹	前田 明	福島 猛	伊藤 文雄	網野 将美	小林 孝彰	平野 光治	田中 憲明	廣田 克己	井上 興正	氏名



紹介されて
おります。
大学のホ
ームペー
ジでご覧
ください。

「主人をはじめ、鈴木家は『心』を大事にしておりました。その『心』は代々二松学舎で育まれてきたものだと思います。そんな大学に寄付という形で恩返し、次世代の教育や研究に役立ててほしいと思います。」(一部を転載)と紹介されております。大学のホームページでご覧ください。

二松学舎新聞 (Vol.07) には「主人をはじめ、鈴木家は『心』を大事にしておりました。その『心』は代々二松学舎で育まれてきたものだと思います。そんな大学に寄付という形で恩返し、次世代の教育や研究に役立ててほしいと思います。」(一部を転載)と紹介されております。大学のホームページでご覧ください。

鈴木久子様
「二松学舎
特別荣誉賛助員」
称号受称
支部長 平野 光治
令和7年10月7日(火)二松学舎大学九段校舎役員会議室にて「二松学舎特別荣誉賛助員」の称号を受称されました。
令和5年度に井上興正様が「二松学舎賛助員」の称号を受称されております。
神奈川県支部にとりましても大変喜ばしいことと受け止めております。心よりお喜び申し上げます。

会費納入者
名簿 (年二千円)

令和4年7月から

区市町村・回 氏名 年度

川崎地区	27 井上 興正 4/12	38 小林 孝彰 4/10	47 山崎 正伸 4/6	博10 小林 英子 4/10	79 中本 雄希 4/4	横浜地区	17 須藤 侑二 4/6	26 河本 岡文 4/6	31 松丸 由文 4/5	41 青野 有美 4/9	42 重田 裕司 4/5	修11 福島 猛 4/7	44 小野 道子 4/5	45 伊藤 文雄 4/8	45 入澤久美子 4/5	46 中安 文恵 4/5	49 田所 哲夫 4/5	53 栗原 明美 4/5	62 横打 理奈 4/12	62 岩谷 恵美 4/7	63 吹原 礼憲 4/5	三浦地区	52 前田 明 4/4	52 小佐野和正 玲子 4/5	修15 48	52 修16 49	49 山根 雅彦 4/5	51 小松 雅彦 4/5	48 箕浦さおり 4/6	47 平澤 孝 4/8	40 松永 恵子 4/9	39 宮澤 峰代 4/6	39 小川 一雄 4/7	湘南地区	39 小川 一雄 4/7	73 保田 悠 4/7	博37 小磯 純子 4/10	64 網野 将美 4/7	51 齋藤 正 4/8	修10 43 城所 庸子 4/5	39 保田 完次 4/7	41 平野 光治 4/10	39 三嶽 道子 4/6	38 吉岡 富子 4/5	修5 38 廣田 克己 4/8	政修5 佐藤 馨 4/8	政15 星野 正貴 4/6	修38 71 石塚知恵子 4/5	53 岩本 明子 4/5	53 大島 雅文 4/5	41 菊地 晃三 4/4	40 鈴木まがね 4/7	県西地区	77 小田切麻以 4/6	修32 65 土屋 隆史 4/7	61 高梨 徹雄 4/9	他都道府県	57 大屋 信子 4/4	38 田中 憲明 4/5	38 生垣しげ子 4/9	45 渡邊 幸江 (慈紅) 4/5	80 相良 恭子 4/9	修36 69 永井俊太郎 4/5	準会員	横浜 原田佐知子 4/7	賛助会員	横浜 鈴木 久子 4/17	横浜 吉田 和恵 4/7
------	---------------	---------------	--------------	----------------	--------------	------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	---------------	--------------	--------------	------	-------------	-----------------	--------	-----------	--------------	--------------	--------------	-------------	--------------	--------------	--------------	------	--------------	-------------	----------------	--------------	-------------	------------------	--------------	---------------	--------------	--------------	-----------------	--------------	---------------	------------------	--------------	--------------	--------------	--------------	------	--------------	------------------	--------------	-------	--------------	--------------	--------------	-------------------	--------------	------------------	-----	--------------	------	---------------	--------------

事務局では間違いないよう確認しておりますが、記載に違いがあれば大変申し訳ございませんが、ご一報をお願いいたします。
(事務局長 網野 将美)



支部報への投稿のお願い

支部報発行に向けて会員の皆様の執筆、投稿(趣味に関することや随想等記事内容は自由で800字程度)をお願いいたします。執筆いただける場合は支部長の平野光治までご連絡ください。

資料提供への協力依頼

神奈川県支部にかかわる「資料」を探しています。創立当初の状況や歴代会長、役員名等の資料、各種会議資料、過去の支部報等、二松学舎松苓会神奈川県支部にかかわる全ての資料が対象となります。お持ちでしたら支部長の平野光治までご連絡ください。なお、提供いただいた資料は活用後返却いたします。

連絡先 〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津 1031-15 電話 090-4207-3699
メールアドレス(PC) shourei.kanagawa.hirano@gmail.com